

## イエシュアの祈り

2010年10月17日 アシェル・イントレーター

イエシュア（イエス）は、ひんぱんに祈りについて教えられました。それ以上に、主は祈られました。私が数えたところによりますと、福音書はイエシュアが祈っておられるのを15回記録しています。最も多く記録しているのがルカ書です。15回の祈りは3つのグループに分けることができます。1)個人的な準備、2)弟子訓練、そして3)十字架の前と、架かられている時です。

### 個人的な準備

1. **ルカ 3:21** - 洗礼の後イエシュアは祈られ、聖霊が鳩の形を取って降りてこられました。主は、神の愛を語る声を聞かれました。
2. **ルカ 4:1** - イエシュアは砂漠に導かれ、そこで主は40日間断食し、祈られ、そして悪魔の誘惑を受けました。
3. **ルカ 4:42、マルコ 1:35** - 夜明け前の早朝、イエシュアは習慣として、他の者がまだ眠っている内に起き出して祈られました。
4. **ルカ 5:17** - イエシュアは神の御言葉を教え、罪を赦し、そして病人を癒すための油注ぎを受けるために祈られました。
5. **ルカ 9:38、マタイ 17:21** - イエシュアはてんかん患者を癒され、悪魔を追い出された時こう言われました。「ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません。」

主ご自身の生活に対し聖霊の導きと啓示を受けるために、イエシュアが日常的に訓練として祈られていたことは、同様に私たちの生活の中に個人的な祈りの習慣の構築を促すものとなるでしょう。

### 弟子訓練

6. **ルカ 6:12** - 弟子たちの召命に対する判断と奉仕に当たらせるため、イエシュアは一晩中祈られました。
7. **ルカ 9:18、マタイ 16:13** - 主の弟子たちが、主が誰であるかという啓示を受けること、そして彼ら自身が神から聞くことができるようイエシュアは祈られました。
8. **ルカ 9:28** - イエシュアは祈られ、変容することによって力と栄光の源を主の弟子たちに明らかにされました。
9. **ルカ 10:2** - 収穫のために働き人を遣わすようイエシュアは祈られました。
10. **ルカ 11:1、マタイ 6:10** - イエシュアは祈られ、神の御国の到来についてと、天にあるように地においても主のご意志が成されるようにと、どのようにして祈るのか主の弟子たちにお見せになりました。

私はとりわけ弟子たちのためのこれらのイエシュアの祈りに興味があります。主の祈りを通して、主は彼らをご自身の元へ連れてこられました。彼らの召命を主は判断されました。主は彼らが啓示による知識を受けよう祈られました。(私は、使徒パウロ [サウロ] はエペソ 1 章において、イエシュアがどういうお方であるのか [17 節]、そして主にあつて私たちが何者であるのか [18 節]、啓示による知識を受けようと、彼が祈りを書いていた時、ルカ 9 章とマタイ 16 章にあるイエシュアの祈りについて考えていたのではないかと思います。)

3年から4年の間イエシュアが弟子たちと共にいた時、主は彼らの性格を多くの祈りによって形成して来られました。主は彼らのために、また彼らと共に祈られました。イエシュアは今も私たちのために、主の御姿へと変えられるように、そして聖霊を受けようと祈っておられるのです(使徒 2:33、ローマ 8:34、ガラテヤ 4:19、ヘブル 7:25)。

### 十字架の前と、架かられている時

11. **ルカ 22:40、マタイ 26:38** – ゲッセマネでイエシュアは神のみこころが行われるように、ご自分の思いがならないようにと、大いなる緊張の元祈られました。
12. **ヨハネ 17:1** – イエシュアは弟子たちのために、また将来の諸国の教会のために、神と一つになり、一致し、栄光を受け、聖に満たされ、そして世界を伝道するよう、大祭司として祈られました。
13. **マタイ 27:46** – イエシュアは詩篇 22 章を引用し、神に叫ばれました。「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」
14. **ルカ 23:34** – イエシュアはすべてを赦すよう祈られました。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」
15. **ルカ 23:46** – イエシュアは最後の祈りと共にご自身を完全に捧げられました。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」

十字架は私たちの代わりとなる最後の執り成しの行為であり、御父への従順の最後の行為でした。イエシュアはご自身の人生を犠牲的な愛と従順に捧げました。十字架は私たちが執り成しの祈りを歩むようにする完全なモデルとしての役割をも持ちます。

### チリ人の炭坑夫

私たちもですが、世界中がチリ人の炭坑夫たちが救助されたことを喜びました。

CNN のテレビインタビューで、救助された炭坑夫であるマリオ・セプルヴェダさんは言いました。「私は神と共にいて、また悪魔と共にいました。彼らは闘い、神が勝ちました。」セプルヴェダさんは、自分は神の手を握って、自分が救助されると信じて疑わなかったと言いました。

LAタイムズのインタビューで、救助活動を指導したエンジニアであるマウリシオ・ピノさんは、17日間も連絡が取れなかった期間の後、8月22日に初めて炭坑夫らと連絡が取れた時、ひざまずいて祈ったと述べました。彼はまた救助活動の間、彼自身が個人的な問題で苦しんできたことを述べました。彼の娘ダニエラは交通事故で重傷を負いました。一日24時間の救助活動によって夫婦関係は危機をむかえ、そして8月28日に予定されていた結婚の誓約を更新するお祝いにも出ることができなかったのです。それは33人の命を救助するために捧げた代償でした。

私の友人であるフランシス・フランギパイン師はこう書いています。「これら強い男たちは彼らの深い穴から現れてイエス・キリストを賛美しました。世界中のカメラは、泣いている男たち、多くはひざまずいて祈り、神に感謝するという場面を私たちに届けました。これらの中にメッセージがあります。どれほど穴が深く、または暗いものであっても、もしあなたがたがキリストを呼ばわるならば、主はあなたがたを見つけ出し、あなたがたを自由にするのです。

これらの炭坑夫らはジャケットの後ろに詩篇 95:4 を書いていました。「地の深みは主の御手のうちにあり、山々の頂も主のものである。」主の御手は地の深みにも届きます。ですから主はあなたにも届くのです。[www.frangipane.org](http://www.frangipane.org) をご覧下さい。

### レバノンでのアフマディネジャド大統領

イランのアフマディネジャド大統領はイスラエル国境からたったの6キロしか離れていないレバノン南部のビント・ジバールを訪問しました。それは明らかに挑発するためでした。何千人という群衆に向かって彼は語り、イスラエルが「地図上から消し去るように」と繰り返し述べました。イスラエルのベニヤミン・ネタニヤフ首相ははっきりと、イスラエルが消えるのではなく、我々の破壊を叫ぶ者こそ消えるのだと述べました。

その一方でイスラエルと他国の報道機関は、イランにあるホラマバッド軍事基地で爆発があったことを伝えました。1300キロの射程距離(イスラエルを狙うに十分な距離)を持つと思われるシハブ3ミサイルの多くは破壊されました。イラン「革命防衛隊」の18人の将校らが殺され、多くが負傷しました。イラン当局は、このニュースが報道機関に「漏れた」ことに激怒しました。